



CONERGY

発電量 3 メガワット: Itnal (インド)

Itnal の Conergy プロジェクトは、インド最大の太陽光発電所の 1 つです。しかし、特筆すべきなのは、このプロジェクトによって現地住民の生活が変化していることです。彼らは、安定した新たな電力供給によって、家庭で電気を使用するだけでなく、農地の灌漑ポンプも動かせるようになったのです。

住民を支援 - インドにクリーンな電力を供給

カルナタカ州に位置する小さな街、Itnal の電力供給は、以前は非常に限られたものでした。電気を使用できるのはわずか 120 世帯のみでした。そして停電も頻繁に発生していました。また、農地や果樹園用の灌漑ポンプは 1 日に 4 時間しか動かすことができませんでした。現地住民の生活向上のためには、こうした状況を変えていく必要がありました。

現地住民が太陽エネルギーから得られる恩恵

新しい太陽光発電所は、Itnal の電力供給に大きく貢献しています。

現地の企業 KPCL の受注を受けて建設された、13,000 枚の太陽電池モジュールによって、毎年 4,000 メガワットアワーを超えるクリーンエネルギーが生産されます。今では、現地住民の 80% 以上が、信頼性が高く手頃な価格のエネルギーを、家庭内にとどまらず農場でも利用可能になりました。発電所のおかげで、400 台の送水ポンプを毎日連続して作動することができるので、1,198 エーカーの農地の灌漑および利用が可能になります。さらなる農業成長が見込めることによって、現地の生活の水準も向上していきます。

「国家の太陽光発電事業」によって増大するエネルギー需要に対応

インドのような熱帯地方では、日照時間が長くて陽射しが強いいため、ソーラーエネルギーは非常に大きな可能性を秘めています。同国政府もこのことを認識しており、2009 年には、再生可能エネルギーを通じて環境に配慮した継続的な成長を推進する「国家の太陽光発電事業」を立ち上げました。インドは、独立電源方式を推進するための個別のプログラム、および系統連係接続のソーラーエネルギーを通じて、2020 年までに太陽から 20 ギガワット以上のエネルギーを生産する予定です。意欲的なインドのエネルギー市場において、この新しい太陽光発電所は、増大し続ける需要に応じる重要な節目となるものです。Conergy にとっても、アジア地域においてこうした成功事例が今後も増え続けます。



プロジェクトの概要		
日付	2010 年 4 月	
場所	Itnal (インド)	
発電量	3 メガワット	
年間生産メガワットアワー	年間 4,000 メガワットアワー	
太陽電池モジュール	13,000 枚 太陽電池モジュール	
パワーコンディショナー	系統連係接続パワーコンディショナー	
架台	陸上設置型固定軸システム	
発電所の規模	70,010 平方メートル	
二酸化炭素削減量	2,000 トン/年	

